

付属資料5. 評価グリッド

| 調査大項目 | 調査中項目 | 調査小項目:PDM指標等(実績)、設問(実施プロセスと5項目) | 必要なデータ/情報源 | 備考 |
|--|---|---|---|---|
| プロジェクトの実績の検証 | 1.1 中国側の投入 | ①CPの配置 ②施設・機材(研修施設、専門家執務室、電気、通信、水道等の設備使用費、研修実施に係る機材) ③プロジェクトの運営経費(研修実施経費、CPの活動費) | ①CPリスト(氏名、所属、配置期間、担当アウトプット/活動) ②施設の提供状況、執務室の数・スペース・提供時期、年度別設備使用費負担額、機材リスト ③年度別の研修実施経費、CPの活動費投入額 | 依頼済(3月末入手予定) |
| | 1.2 日本側の投入 | ①長期及び短期専門家派遣 ②本邦研修 ③プロジェクトで供与した機材(供与機材、携行機材、在外事業強化費で購入した機材含む) ④プロジェクトの運営経費(研修実施経費、専門家の活動費等) | ①年度別の長期専門家リスト及び短期専門家リスト(氏名、分野、派遣期間、担当アウトプット/活動) ②年度別のCP研修受入リスト(氏名、所属、研修コース名、期間、担当アウトプット/活動) ③年度別投入額のわかる機材リスト ④年度別の在外事業強化費投入額 | 同上 |
| 2. アウトプットの実績 | アウトプット1 日中林業生態研修センターを中心に、県レベルの林業関係職員の研修実施及び人的資源開発を行うための体系が整備される。 | 1) 研修計画5年計画に基づき、当年度計画が、毎年7月までに作成される。 | ・5年間計画、年度計画の作成時期 | 入手済 |
| | | 2) プロジェクト・ドキュメントの計画通り、研修コース開発チームのカウンターパート(O/P)32名が配置され、各地方研修拠点に最低2名の人員が配置される。 | ・プロダクに記した研修コース開発・実施のための人員配置状況 ・各拠点の人員配置状況 | 同上 |
| | | 3) 原則として、研修実施経費の50%がそれぞれ日中双方によって負担される。 | ・予算関連資料 | 依頼済(3月末入手予定) |
| | | 4) 2007年9月までに研修体系整備計画が策定され、計画に基づいて構築された体系が、研修ネットワーク協議委員会メンバーに「適切であり、プロジェクト終了後も機能する」と評価される。 | ・研修体制整備計画 ・研修ネットワーク協議委員会メンバーによる評価(研修ネットワーク協議委員会資料)、委員への質問票/インタビュー | |
| | | 5) プロジェクト終了までに、研修計画5年計画に基づき、合計58のモデル研修コース(研修・人的資源分野の3コースを含む)が開発される。 | ・開発されたモデル研修コースの情報 ・アウトプット1とアウトプット2の研修コース実績(分野別、対象者(国・省・県級)別実績) | 総数入手済 詳細依頼済 |
| | その他、アウトプット1について特記すべき事項 | | | |
| | アウトプット2 県レベルの林業関係職員の人材育成のための研修コース(カリキュラム、テキスト)が開発・改善され、研修が実施される。 | 1) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で合計55のカリキュラムが開発され、カリキュラムごとに教材が開発される。 | ・カリキュラム・教材作成実績(分野ごとの対象者別(省級・県級)実績) | 総数入手済 要 詳細 |
| | | 2) アウトプット2の下で行われた研修の受講者の80%が研修コースの「理解度」「活用度(反映度)」「方法」について、3段階の中以上の評価をする。 | ・研修受講者のアンケート結果(分野ごとの対象者別(省級・県級)「理解度」「活用度」「方法」回答者数) | 「活用度」「方法」 総数入手済 / 詳細依頼済 「理解度」要入手 |
| | | 3) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で、研修計画5年計画に基づき、合計55の研修コースが開発される(林業行政管理11、造林事業管理18、造林技術管理20、野生動植物保護6)。 | ・研修実績(分野別、対象者(省・県)別の年度計画・実績) | 総数入手済 詳細依頼済 |
| | | 4) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で、合計2,173名(省級93名、県級2,080名)が研修を受講する(林業行政管理431名、造林事業管理711名、造林技術管理800名、野生動植物保護231名)。 | ・研修参加実績(分野別、対象者(省・県)別の年度計画・実績) | 総数入手済 詳細依頼済 |
| その他、アウトプット2について特記すべき事項 | | | | |
| アウトプット3 日中林業生態研修センターが日中の林業技術協力を中心に情報収集、蓄積、発信の拠点となる。 | 1) プロジェクト終了までに、プロジェクトの広報資料8,000部及び六大林業重点事業広報資料3,000部が配布される。 | ・配布数 | 入手済 | |
| | 2) プロジェクト終了までに、のべ200人以上が日中林業生態研修センターを訪問する。 | ・センター訪問者数(年度別) | 総数入手済 詳細依頼済 | |
| | 3) 年1回のシンポジウムが開催される。 | ・シンポジウム開催記録(開催年、開催場所、テーマ、参加人数、主な所属先) | 総数入手済 詳細依頼済 | |
| | 4) 日中林業関係資料が資料室に整備される。 | ・資料目録 | 資料数入手済 | |
| | その他、アウトプット3について特記すべき事項 | | | |
| 3. プロジェクト目標の実績 | 日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、六大林業重点事業に関わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される。 | 1) 日中林業生態研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | ・CP、専門家の意見(質問票及びインタビュー) ・研修ネットワーク協議委員会メンバーの意見(質問票/インタビュー) | |
| | | 2) 8地方研修拠点が、日中林業生態研修センターの技術支援を受けながら、県レベルの林業関係職員に対して、現場ニーズに応じた研修を開発・実施・改善できるようになる。 | ・CP、専門家の意見(質問票及びインタビュー) ・研修ネットワーク協議委員会メンバーの意見(質問票/インタビュー) | 委員会メンバー = 拠点CPである |
| | | 3) プロジェクトのホームページのページ・ビュー数が年々増加する。 | ・ホームページの年別ページ・レビュー数 | 総数入手済 詳細依頼済 |
| 4. 上位目標の実績(見込み) | 全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、六大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される。 | 1) 研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いて国家林業局管理幹部学院(他の研修コースを含む)及び8地方研修拠点で研修が行われる。 | ・開発手法を活用した国家林業局管理幹部学院他コース、及び地方の研修拠点における自主研修実績 ・関係者の意見・予測(PD/PM専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | |
| | | 2) 国家林業局管理幹部学院の技術支援の下、研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が、地方研修拠点以外の〇省で行われる。 | ・関係者の意見・予測(PD/PM、専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | 「研修」が自主研修を指すのか、幹部学院が財政支援をする研修なのか共通認識を要確認。 ・計画値が不明確なため、正確な予測は困難である。 |

| 調査大項目 | 調査中項目 | 調査小項目:PDM指標等(実績)、設問(実施プロセスと5項目) | 必要なデータ/情報源 | 備考 | | |
|-----------|-----------------------------|--|--|---|---|--|
| 実施プロセスの確認 | 1活動の進捗状況 | ①PDM・PO・研修計画等の変更があったか、あった場合、内容とその理由 ②PDM,PO等の計画通りに活動は進んでいるか(遅れた場合、その阻害要因・対策はなにか、阻害要因は解決されたか、プロジェクト終了までに完了する見込みか、アウトプットの達成に影響はあるか) | 計画の実施状況(最新POに対する活動実績表) ②関係者の意見(専任CP,地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | 活動実績表(依頼済)(3月末入手予定) | | |
| | 2プロジェクトの運営管理 | 2.1モニタリング | ①プロジェクトのモニタリング(JICAへの定期報告、JCCを含む)は計画通り実施できているか ②プロジェクト内部のモニタリングシステムは確立されているか ③モニタリングで明らかになった課題に対する対処は適切に行われたか(プロジェクト、国家林業局、JICA) ④PDM・POの修正は必要に応じて行われたか | ①定期報告書、JCC関連書類 ②進捗報告書、関係者の意見 ③関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) ④PDM,PO,JCC関連書類 | | |
| | | 2.2意思決定プロセス | 意思決定プロセスはどのように行われているか、それは適切か(問題があれば何か、対策は講じられたか) | 関係者の意見(専門家、PD/PM、専任CP、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | | 2.3実施体制 | プロジェクトの実施体制は適切か(問題があれば何か、対策は講じられたか) | 関係者の意見(専門家、PD/PM、専任CP、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | 3.関連組織との関わり方 | 3.1各省林業局との関係 | ①活動への参加度合いはどうか ②コミュニケーションは円滑だったか?(阻害要因があれば何か、対策は講じられたか) | 関係者の意見(専門家、専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | | 3.2各県林業局との関係 | 同上 | 関係者の意見(同上) | | |
| | | 3.3各郷・鎮林業ステーションとの関係 | 同上 | 関係者の意見(同上) | | |
| | 4.プロジェクト内部の関係性 | 4.1 C/P間の関係 | C/P(国家林業局関係司・弁公室、国家林業局管理幹部学院、地方拠点)のコミュニケーションは適切だったか?(阻害要因があるなら何か、対策は講じられたか、アウトプット達成への影響はあったか) | 関係者の意見(専門家、PD/PM、専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | | 4.2 専門家とC/Pの関係 | 専門家とC/Pとのコミュニケーションは円滑だったか(阻害要因があるなら何か、対策は講じられたか) | 関係者の意見(専門家、PD/PM、専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | 5.オーナーシップ | 5.1 C/P機関(国家林業局、国家林業局管理幹部学院、地方拠点)のオーナーシップ | プロジェクトに対するオーナーシップほどの程度か、その理由 | 進捗報告書等のレビュー 関係者の意見(専門家へのインタビュー) | | |
| | | 5.2 C/Pのオーナーシップ | 同上 | 関係者の意見(専門家へのインタビュー) | | |
| | 6.その他の貢献・阻害要因 | — | 実施プロセスに影響を与えたその他の貢献・阻害要因はあったか | 関係者の意見 | | |
| 5項目 | 1.妥当性 | 1.1.優先度 | (1)上位目標は現在でも中国政府の開発政策・計画(六大林業重点事業等)と整合性はあるか | 中国の開発政策・計画 | | |
| | | | (2)上位目標・プロジェクト目標は現在でも日本の援助政策、JICA国別事業展開の方向性と整合性はあるか | 日本の援助政策、JICA国別事業展開の方向性 | | |
| | | 1.2.必要性 | (1)プロジェクト目標は現在でも受益者のニーズに合致しているか | 関係者の意見(専門家、PD/PM、6大弁公室、人事教育司、地方拠点への質問票/インタビュー) | | |
| | | | (2)プロジェクト目標は対象地域のニーズに合致しているか | 地方拠点の選定プロセス、関係者の意見(地方拠点への質問票/インタビュー) | 選定プロセスは中間評価で入手済 | |
| | | 1.3.手段としての適切さ | プロジェクトは妥当性があるか? | (1)プロジェクトの戦略、計画、アプローチ ①現地の状況に適した協力形態・協力方法の選択、効果の受益や費用の負担が公平か ②PDM(上位目標、プロジェクト目標、アウトプット、指標、外部条件等)の設定は妥当か | ①関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、への質問票/インタビュー) ②PDM、事前評価調査の情報 | |
| | | | | (2)ターゲット・グループ(六大林業重点事業の実施を担う県レベルの林業関係職員)の選定は適正だったか(対象、規模) (2)日本の技術の優位性はあったか (3)プロジェクトを取り巻く環境(政策、経済、社会など)に変化はないか | 関係者の意見(専門家、専任CP、地方拠点への質問票/インタビュー) 関係者の意見(専門家、専任CPへのインタビュー) | |
| | 2.有効性 | プロジェクトの実施により、期待される効果が発現するか? | 2.1プロジェクト目標の達成度 | 現在のアウトプットの産出状況から、プロジェクト目標は達成される見込みがあるか | プロジェクト目標・アウトプットの実績 | |
| | | | 2.2アウトプットの貢献度 | アウトプットはプロジェクト目標を達成するために十分に貢献しているか | PDMレビュー | |
| | | | 2.3アウトプットからプロジェクト目標にいたる外部条件の影響 | ①外部条件は満たされたか、満たされる見込みか ②その他の外部条件はないか | ①アウトプットからプロジェクト目標にいたる外部条件は設定されていない ②関係者の意見(専門家、専任CPへのインタビュー) | |
| | | | 2.4有効性に影響を与えるその他の要因 | プロジェクト目標達成を阻害・貢献する要因は何か | 阻害・貢献要因の事例 専門家、専任CPへのインタビュー | |
| 3.効率的性 | プロジェクトの実施により、期待される効果が発現するか? | 3.1.アウトプットの産出状況 | ①アウトプットの達成度は計画通りか、プロジェクト終了までに達成される見込みか ②アウトプットの達成度合いは投入・活動に見合っているか? | ①アウトプットの実績 ②アウトプット・活動・投入実績 | | |
| | | 3.2.アウトプットにいたる外部条件の影響 | ①外部条件は満たされたか、満たされる見込みか ②その他の外部条件はなかったか | ①計画どおり「研修対象者が研修に参加したかどうかに関する情報(アウトプット2指標4)の実績+アウトプット1に関する同様の実績) ②関係者の意見(専門家、専任CPへのインタビュー) | アウトプット1に関する研修参加者実績(対計画)要入手 | |
| | | 3.3.アウトプット達成に対する投入のタイミング・量・質の適正さ | (1)中国側の投入は適切だったか ①CPの配置(タイミング、期間、人数、分野、レベル) ②土地・施設(タイミング、量、質、管理、活用状況) ③予算措置(タイミング、量、管理、活用状況) | 投入実績 関係者の意見(専門家、専任CP) | | |
| | | | (2)日本側の投入は適切だったか ①長期専門家(タイミング、期間、人数、分野、レベル) ②短期専門家(タイミング、期間、人数、分野、レベル) ③本邦研修(タイミング・期間、人数、分野、内容、レベル、活用状況) ④機材(タイミング、量、品目、スペック、機材管理、活用状況) ⑤在外事業強化費(タイミング、量、管理、活用状況) | 投入実績 関係者の意見(専門家、専任C/P) | | |
| | | 3.4.関連機関との連携 | 現地情報リソース(政府、他ドナー、JICAプロジェクトなど)を有効活用しているか | 現地情報リソースの活用例 | | |
| | | 3.5.効率性に影響を与えるその他の要因 | プロジェクトの効率性を阻害・貢献するその他の要因があるか?それは何か? | 阻害・貢献要因の事例 | | |

| 調査大項目 | 調査中項目 | 調査小項目:PDM指標等(実績)、設問(実施プロセスと5項目) | 必要なデータ/情報源 | 備考 |
|---|---|--|--|----|
| 4.インパクト(予測) | 4.1上位目標レベルのインパクト:プロジェクト終了3年後の上位目標(予期したプラスの影響)の達成見込み | (1)上位目標はプロジェクトの結果としての発現が見込まれるか | 関係者の意見(上位目標の実績参照) | |
| | | (2)外部条件の影響はあるか ①外部条件は適切で、満たされる見込みか ②その他の外部条件はあるか | ①「研修に参加した多くの職員が自然環境保護事業を続ける。」「研修予算が確保される。」「他の既存研修コースが継続的に実施される。」に関する情報 ②関係者の意見(PD/PM、人事教育司、地方拠点、専門家) | |
| | プロジェクトの実施により波及効果はあるか? | (3)上位目標発現を阻害する要因はあるか | 関係者の意見(PD/PM、人事教育司、地方拠点、専門家) | |
| | 4.2その他のインパクト | プロジェクト実施により、その他の予期しなかったプラス・マイナスの影響(波及効果含む)はあるか(政府、他ドナー、他のNGO、受益者、C/P、受益者以外の住民などに、波及効果はあるか) | 該当事例(PD/PM、専任CP、6大弁公室、人事教育司、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | |
| 5.自立発展性(見込み) | 5.1 制度面 | (1)<政策支援> 現行の中国政府の開発政策・計画(六大林業重点事業等)は今後も継続する見込みか | 中国の開発政策・計画の見直しに関する関係者の意見(PD/PM、弁公室、人事教育司) | |
| | 5.2 組織面 | (1)<プロジェクト終了後のあり方(出口戦略)> センター及び8拠点には(短・中期的には上位目標達成のための)活動の継続・発展のためのプロジェクト終了後の方針・戦略があるか(方針・戦略をつくる計画があるか) ①幹部学院:地方拠点省へのフォローアップ、研修教材・カリキュラム作成方法を用いた地方拠点以外の省への普及、日中林業協力拠点機能、②地方拠点:省内における関連研修事業継続・発展、省外への協力 | 関係者の意見(PD/PM、地方拠点、CAへの質問票/インタビュー) | |
| | | (2)<人材の配置> センターと8拠点で①プロジェクト終了後もC/Pは関連ポストに配置される見込みか、②定着する見込みか | 関係者の意見(PD/PM、地方拠点、CAへの質問票/インタビュー) | |
| | | (3)<運営管理能力>センター及び8拠点には事業を独自で運営管理する能力が備わっているか(終了までにつく見込みか) | 関係者の意見(PD/PM、地方拠点、CAへの質問票/インタビュー) | |
| | | (4)<関連機関との連携>①関連機関との連携は十分か ②プロジェクト終了後も継続する見込みか | 連携実績(実施プロセス参照) 関係者の意見(PD/PM、地方拠点、CAへの質問票/インタビュー) | |
| | 5.3 財政面 | ①中央・地方政府が当該事業を実施するための十分な財源が確保されているか。 ②プロジェクト終了後、幹部学院及び地方拠点の関連研修事業、地方拠点外の省における自主研修の予算は確保される見込みか、財源は何か | ①予算状況、関係者の意見(効率性参照) ②関係者の意見(PD/PM、人事教育司、地方拠点、CAへの質問票/インタビュー) | |
| | 5.4 技術面 | (1)<幹部学院・地方拠点CPの技術能力> ①プロジェクト終了までにCPが独自で関連活動を計画・実施できる能力がつくか ②プロジェクト終了までにさらに向上が必要な課題は何か | 関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | |
| | | (2)<移転技術及び成果品の活用・普及の可能性> ①センター及び拠点による移転技術・成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラム及び開発方法など)の活用・更新、センターによる情報発信(Web更新等)は継続されるか ②研修受講者は移転された技術を事業に活用する見込みか ③国家林業局の他部署、他機関、他省へ普及する見込みか ④上記を確保、促進するための工夫をプロジェクトは行っているか | ①②実績と今後の見直しに関する関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) ③実績と今後の見直しに関する関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、6大弁公室、人事教育司への質問票/インタビュー) ④関係者の意見(「出口戦略」参照) | |
| (3)供与機材の維持管理 ①C/Pに資機材の維持管理能力はあるか、維持管理システムは確立されているか ②スベアパーツや消耗品の入手・修理は現地でも可能か、そのための予算は確保されているか | | 機材の維持管理計画、予算措置 関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | | |
| 5.5 社会・文化的側面、環境面 | 社会・文化的側面、環境面の自立発展性に関して留意することはあるか | 該当事例 関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | | |
| 横断的視点 | プロジェクトの実施の際に社会配慮・ジェンダー配慮はなされているか | — | 該当事例 関係者の意見(PD/PM、専任CP、地方拠点、専門家への質問票/インタビュー) | |

付属資料6. 質問票

終了時評価 質問票配布対象者

| 質問票 番号 | 対象 | 機関 | 配布数 | 回答対象者 | 頁数 |
|-----------|--|----------------|-----|--------------------------------|----|
| Q1 | プロジェクト管理 CP (プロジェクト・ディレクター、 プロジェクト実施責任者、プロ ジェクト総合管理者) | 人事教育司, 幹部学院 | 2 | ①楊連清 ②王健子、汪国中 | 7p |
| Q2 | 幹部学院専任 CP | 幹部学院 | 4 | 蘇秀麗、劉凱峰、王宝、 張薇 | 5p |
| Q3 | 国家林業局 CP 1 | 人事教育司 | 1 | 吳友苗 | 4p |
| Q4 | 国家林業局 CP 2 | 六大弁公室 | 6 | 劉永紅、江天法、吳軫 穎、王福祥、石敏、郭 紅燕 | 3p |
| Q5 | 地方拠点 | 8 拠点 | 8 | 各拠点責任者・担当者 | 6p |
| Q6 | チーフアドバイザー | | 1 | 増田 | 7p |
| Q7 | 専門家 | | 3 | 西川、大門、成海 | 6p |
| 合計 | | | 23 | | |

* 頁数に表紙は含まれていない。

プロジェクト・ディレクター への質問票

この質問票は日中林業生態研修センター（以下、研修センター）プロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆様のご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | タイトル | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | プロジェクトにおける役割 |
|---|----|---------------|-----------------------------|--------------|
| 1 | | プロジェクト・ディレクター | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント（判断の根拠、等）をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (特にコメントは必要ありません) |
|------------------------|-------------------------|------------------|

パート I

プロジェクトの実績

回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

Q1.1 プロジェクト目標の実績：プロジェクト終了までに以下の指標は達成されると思いますか？

| | | |
|---|---|--|
| (1) 研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | Fully Mostly Partly Not at all | |
|---|---|--|

Q1.2 上位目標の実績(見込み)：プロジェクト終了 3 年後に以下の指標は達成されていると思いますか？-回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

(1) 幹部学院及び地方拠点における研修

| | | |
|---|-------------------|--|
| (a) 幹部学院において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が幹部学院で実施される | Yes No n/a. | |
| (b) 地方拠点において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が実施される | Yes No n/a. | |

(2) 地方拠点以外への研修の拡大

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 幹部学院の技術支援の下、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が地方拠点以外で実施される | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

パート II

実施プロセス

Q1.1 活動の進捗状況：判断の理由もお書き下さい

| | | |
|--|-------------------|---|
| (1) 全般にプロジェクトの活動は計画通り進んでいますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？ <u>もし Yes であれば、主要な問題を列記してください (3 つ以内)</u> 。さらに、下の(4)にも回答してください。 | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問 (3) の回答が Yes の場合、列記された問題は解決されましたか？ <u>問題ごとに Yes か No かお答えください</u> 。もし、 <u>Yes の場合は、どのように解決したか</u> 、No | | (上記 (3) の回答が Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |

| | |
|-----------------------------|--|
| の場合は、その理由と取るべきアクションを教えてください | |
|-----------------------------|--|

Q1.2 実施体制：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.3 意思決定及びモニタリングのプロセス：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定はどのように行われていますか？ | | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト内部のモニタリング・システムはどのようになっていますか？ | | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.4 プロジェクト内のコミュニケーション：Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院及び国家林業局のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、幹部学院及び地方拠点のコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、幹部学院と日本人専門家の間のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.5 プロジェクト関係者との連携：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各省林業局との連携（各省林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各県林業局との連携（各県林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |

| | | |
|---|------------------|--|
| ン等) は適切でしたか？ | | |
| (3) 上記プロジェクトとの連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 必要性

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 中国のニーズ ：上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」は今でも中国のニーズに適合していますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 受益者のニーズ ：プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は今でも受益者（研修員）のニーズに合致していますか？ | Yes No n/a | |

Q1.2 優先度

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 上位目標は、今でも中国の開発政策・計画（6大重点事業等）と整合性がありますか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

Q1.2 手段としての適切さ

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 戦略・アプローチ ：プロジェクトの戦略・アプローチは、現在でも現地の状況に適していますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 日本の技術の優位性 ：今でも、日本側に、プロジェクトに関する技術的優位性はあると思いますか？ | Yes No n/a | |

Q2. プロジェクト目標

Q2.1 プロジェクト目標達成度

(Fully=十分に、Mostly=おおむね、Partly=部分的に、Not at all=全くない)

プロジェクト目標：「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が研修センターを中心に整備される」

| | | |
|--|---|--|
| (1) プロジェクト終了までに、プロジェクト目標はどの程度達成されると思いますか？ - 回答が Fully か Mostly の場合、判断の理由を。 Partly か Not at all の場合、阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）を教えてください。 | Fully Mostly Partly Not at all n/a. | |
|--|---|--|

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1 上位目標レベルのインパクト—もし**回答が Yes** の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No** の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

■上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」

| | | |
|--------------------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクト終了3年後に、上位目標は達成されると予測されますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 以下の外部条件は満たされる見込みですか？ | | |
| a 研修に参加した多くの職員が自然環境保護事業を続ける | Yes No n/a | |
| b 研修予算が確保される | Yes No n/a | |
| c 他の既存研修コースが継続的に実施される | Yes No n/a | |

Q3.2. 既に発現したインパクト：これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes** の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.3. 予測されるインパクト：プロジェクトの実施によってもたらされるプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes** の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No | 1) 2) |

| | | |
|--|------|----|
| | n/a. | 3) |
|--|------|----|

Q4. プロジェクトの自立発展性の見通し

Q4.1 組織・制度的側面-もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) 政策支援

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 6 大林業重点事業等の森林・自然環境保全分野の現行の政策・計・計画は今後も継続すると考えられますか？ | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

(2) 組織戦略(出口戦略): 研修センター/国家林業局幹部学院には、以下の分野における、プロジェクト終了後の活動継続・発展に関する方針・戦略がありますか？（あるいは作成する計画がありますか？）

| | | |
|--------------------|------------------|--|
| (a) 地方拠点省へのフォローアップ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点以外の省への普及 | Yes No n/a | |
| (b) 日中林業協力の拠点機能 | Yes No n/a | |

(3) 人員の配置

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 幹部学院 C/P は、プロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点の C/P はプロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 幹部学院 C/P はプロジェクト終了後も当該機関に勤務すると考えられますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 地方拠点の C/P はプロジェクト終了後も当該機関に勤務すると考えられますか？ | Yes No n/a | |

(4) 組織的運営能力

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 研修センターには、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点には、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |

(5) 関連機関との連携

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了後、研修センターと 8 拠点との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
|--|------------------|--|

| | | |
|---|------------------|--|
| (b) プロジェクト終了後も研修センターとその他の関連機関との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

Q4.2 財政的側面 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクト終了後も、研修センターが研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクト終了後も、地方拠点が研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |

Q4.3 技術的側面 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) CP の技術能力

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) 幹部学院 CP の技術的能力：プロジェクト終了までに、中央の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わりますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点の CP の技術的能力：プロジェクト終了までに、地方拠点の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わりますか？ | Yes No n/a | |

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 研修センターは、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後も活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 研修センターによる日中林業協力の情報発信機能（資料室整備、WEB 更新など）は今後も継続される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後も活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後も彼らの事業に活用していくことができ | Yes No n/a | |

| | | |
|------------|--|--|
| ると見込まれますか？ | | |
|------------|--|--|

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、C/P に供与機材を独自で維持管理する能力が備わると思われますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 供与機材の維持管理システムは確立されていますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.5 その他 -もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください (3つ以内)

| |
|----|
| 1. |
| 2. |
| 3. |

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

プロジェクト実施責任者・総合管理者 への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆さんのご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | タイトル | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | プロジェクトにおける役割 |
|---|----|-------------|-----------------------------|--------------|
| 1 | | プロジェクト実施責任者 | | |
| 2 | | プロジェクト総合管理 | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント（判断の根拠、等）をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |
|------------------------|-------------------------|------------------|

パート I

プロジェクトの実績

回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

Q1.1 プロジェクト目標の実績：プロジェクト終了までに以下の指標は達成されると思いますか？

| | | |
|---|---|--|
| (1) 研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | Fully Mostly Partly Not at all | |
|---|---|--|

Q1.2 上位目標の実績(見込み)：プロジェクト終了 3 年後に以下の指標は達成されていると思いますか？-回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

(1) 幹部学院及び地方拠点における研修

| | | |
|---|-------------------|--|
| (a) 幹部学院において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が幹部学院で実施される | Yes No n/a. | |
| (b) 地方拠点において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が実施される | Yes No n/a. | |

(2) 地方拠点以外への研修の拡大

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 幹部学院の技術支援の下、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が地方拠点以外で実施される | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

パート II

実施プロセス

Q1.1 活動の進捗状況：判断の理由もお書き下さい

| | | |
|--|-------------------|---|
| (1) 全般にプロジェクトの活動は計画通り進んでいますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？ <u>もし Yes であれば、主要な問題を列記してください (3 つ以内)</u> 。さらに、下の(4)にも回答してください。 | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問 (3)の回答が Yes の場合、 <u>列記された問題は解決されましたか？問題ごとに Yes か No かお答えください</u> 。もし、Yes の場合は、どのように解決したか、No | | (上記 (3) の回答が Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |

| | |
|-----------------------------|--|
| の場合は、その理由と取るべきアクションを教えてください | |
|-----------------------------|--|

Q1.2 実施体制：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.3 意思決定及びモニタリングのプロセス：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定はどのように行われていますか？ | / | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト内部のモニタリング・システムはどのようになっていますか？ | / | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.4 プロジェクト内のコミュニケーション：Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院及び国家林業局のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、幹部学院及び地方拠点のコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、幹部学院と日本人専門家の間のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.5 プロジェクト関係者との連携：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各省林業局との連携（各省林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各県林業局との連携（各県林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |

| | | |
|---|------------------|--|
| ン等) は適切でしたか？ | | |
| (3) 上記プロジェクトとの連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 必要性

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 中国のニーズ ：上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」は今でも中国のニーズに適合していますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 受益者のニーズ ：プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は今でも受益者（研修員）のニーズに合致していますか？ | Yes No n/a | |

Q1.2 優先度

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 上位目標は、今でも中国の開発政策・計画（6大重点事業等）と整合性がありますか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

Q1.2 手段としての適切さ

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 戦略・アプローチ ：プロジェクトの戦略・アプローチは、現在でも現地の状況に適していますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 日本の技術の優位性 ：今でも、日本側に、プロジェクトに関する技術的優位性はあると思いますか？ | Yes No n/a | |

Q2. プロジェクト目標

Q2.1 プロジェクト目標達成度

(Fully=十分に、Mostly=おおむね、Partly=部分的に、Not at all=全くない)

プロジェクト目標：「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が研修センターを中心に整備される」

| | | |
|--|---|--|
| (1) プロジェクト終了までに、プロジェクト目標はどの程度達成されると思いますか？ - 回答が Fully か Mostly の場合、判断の理由を。 Partly か Not at all の場合、阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）を教えてください。 | Fully Mostly Partly Not at all n/a. | |
|--|---|--|

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1 上位目標レベルのインパクト—もし**回答が Yes** の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No** の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

■上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」

| | | |
|--------------------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクト終了3年後に、上位目標は達成されると予測されますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 以下の外部条件は満たされる見込みですか？ | | |
| a 研修に参加した多くの職員が自然環境保護事業を続ける | Yes No n/a | |
| b 研修予算が確保される | Yes No n/a | |
| c 他の既存研修コースが継続的に実施される | Yes No n/a | |

Q3.2. 既に発現したインパクト：これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes** の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.3. 予測されるインパクト：プロジェクトの実施によってもたらされるプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes** の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No | 1) 2) |

| | | |
|--|------|----|
| | n/a. | 3) |
|--|------|----|

Q4. プロジェクトの自立発展性の見通し

Q4.1 組織・制度的側面-もし回答が Yes の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) 政策支援

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 6 大林業重点事業等の森林・自然環境保全分野の現行の政策・計・計画は今後も継続すると考えられますか？ | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

(2) 組織戦略(出口戦略): 研修センター/国家林業局幹部学院には、以下の分野における、プロジェクト終了後の活動継続・発展に関する方針・戦略がありますか？（あるいは作成する計画がありますか？）

| | | |
|--------------------|------------------|--|
| (a) 地方拠点省へのフォローアップ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点以外の省への普及 | Yes No n/a | |
| (b) 日中林業協力の拠点機能 | Yes No n/a | |

(3) 人員の配置

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 幹部学院 C/P は、プロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点の C/P はプロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 幹部学院 C/P はプロジェクト終了後も当該機関に勤務すると考えられますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 地方拠点の C/P はプロジェクト終了後も当該機関に勤務すると考えられますか？ | Yes No n/a | |

(4) 組織的運営能力

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 研修センターには、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点には、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |

(5) 関連機関との連携

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了後、研修センターと 8 拠点との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
|--|------------------|--|

| | | |
|---|------------------|--|
| (b) プロジェクト終了後、研修センターとその他の関連機関との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

Q4.2 財政的側面 -もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクト終了後も、研修センターが研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクト終了後も、地方拠点が研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |

Q4.3 技術的側面 -もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) CP の技術能力

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) 幹部学院 CP の技術的能力：プロジェクト終了までに、中央の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わりますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点の CP の技術的能力：プロジェクト終了までに、地方拠点の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わりますか？ | Yes No n/a | |

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及 -もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 研修センターは、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後も活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 研修センターによる日中林業協力の情報発信機能（資料室整備、WEB 更新など）は今後も継続される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後も活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後も彼らの事業に活用していくことができ | Yes No n/a | |

| | | |
|------------|--|--|
| ると見込まれますか？ | | |
|------------|--|--|

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、C/P に供与機材を独自で維持管理する能力が備わると思われますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 供与機材の維持管理システムは確立されていますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.5 その他 -もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください (3つ以内)

| |
|----|
| 1. |
| 2. |
| 3. |

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q2 幹部学院 C/P への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆さんのご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

回答日: 2009年 月 日

回答者の情報

| | 名前 | 技術分野 | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | (1) 担当するアウトプット及びPDM の活動項目 (1・1等) (2) プロジェクトにおける役割 |
|---|----|------|-----------------------------|---|
| 1 | | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント（判断の根拠、等）をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|----------------------------|-------------------------|--------------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切 ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてくだ さい) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切 ですか？ | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてくだ さい) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切 ですか？ | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |

パート I

プロジェクトの実績

回答が **Yes** の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、**No** の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

Q1.1 プロジェクト目標の実績：プロジェクト終了までに以下の指標は達成されると思いますか？

| | | |
|---|---|--|
| (1) 独力で (JICA の支援なしで)、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | Fully Mostly Partly Not at all | |
|---|---|--|

Q1.2 上位目標の実績：プロジェクト終了から 3 年後に以下の指標は達成されていると思いますか？

-回答が **Yes** の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、**No** の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

(1) 幹部学院及び地方拠点における研修

| | | |
|---|-------------------|--|
| (a) 幹部学院において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が幹部学院で実施される | Yes No n/a. | |
| (b) 地方拠点において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が実施される | Yes No n/a. | |

(2) 地方拠点以外への研修の拡大

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 幹部学院の技術支援の下、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が地方拠点以外で実施される | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

パート II

実施プロセス

Q1.1 担当アウトプット下の活動の進捗状況：判断の理由もお書き下さい

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 全般にプロジェクトの活動は計画通り進んでおり、PO に記された活動はプロジェクト終了までに完了する見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？ もし Yes であれば、 <u>主要な問題を列記してください (3 つ以内)</u> 。さらに、下の(4)にも回答してください。 | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問 (2) の回答が Yes の場合、列記された問題は解決されましたか？ <u>問題ごとに Yes か No かお答えください</u> 。もし、 Yes の場合は、どのように解決したか、 No | | (上記 (2) の回答が Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |

| | |
|-----------------------------|--|
| の場合は、その理由と取るべきアクションを教えてください | |
|-----------------------------|--|

Q1.2 意思決定及びモニタリングのプロセス： Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定はどのように行われていますか？ | | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト内部のモニタリング・システムはどのようになっていますか？ | | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.3 プロジェクト内のコミュニケーション： Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院及び国家林業局のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、幹部学院及び地方拠点のコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、幹部学院と日本人専門家の間のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.4 プロジェクト関係者との連携： Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各省林業局との連携（各省林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各県林業局との連携（各県林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (3) 上記プロジェクトとの連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.6 その他の貢献・阻害要因： 回答が Yes の場合、具体例を記してください

| | | |
|-------------------------------------|-------------------|--|
| (1) 上記以外で、活動の円滑な実施に貢献した要因が何かありますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 上記以外で、活動の円滑な実施に悪影響を与えた要因はありますか？ | Yes No n/a. | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 手段としての適切さ

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 戦略・アプローチ ：プロジェクトの戦略・アプローチは、現在でも現地の状況に適していますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 日本の技術の優位性 ：今でも、日本側に、プロジェクトに関する技術的優位性はあると思いますか？ | Yes No n/a | |

Q2. アウトプットと投入の関係

Q2.1 中国側の投入：プロジェクトのアウトプット達成のために、以下の投入は適切だったでしょうか？ (A=Appropriate(適切), Fair (まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) C/P の配置

| | | |
|-------------------|------------|--|
| (a) 配置のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) C/P の数、配置期間 | A・F・NA・n/a | |
| (c) C/P の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a | |

(2) 施設・機材 (研修施設・専門家執務室・研修機材)

| | | |
|-----------------|------------|--|
| (a) 提供のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) 量 (スペース、数等) | A・F・NA・n/a | |
| (c) 質 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 活用 | A・F・NA・n/a | |
| (e) 維持管理 | A・F・NA・n/a | |

(3) 中国政府の予算措置 (研修実習経費、C/P の活動費等)

| | | |
|--------------|------------|--|
| (a) 投入のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) 量 | A・F・NA・n/a | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a | |

Q2.2 日本側の投入：プロジェクトのアウトプットの達成のために、以下の日本側投入は適切だったでしょうか？ (A=Appropriate(適切), F=Fair (まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) 長期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(2) 短期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(3) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

(4) 日本から供与された機材

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 供与のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 機材の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 機材の品目、スペック、質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 機材の維持管理 | A・F・NA・n/a. | |
| (e) 機材の活用 | A・F・NA・n/a. | |

(5) 日本側の在外事業強化費（研修実施経費を含め）

| | | |
|-----------|-------------|--|
| (a) タイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 量 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a. | |

Q3. プロジェクトのインパクト

Q3.1. 既に発現したインパクト：これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答がYesの場合**、具体例を列举してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.2. 予測されるインパクト：プロジェクトの実施によってもたらされうるプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q4. プロジェクトの自立発展性の見直し

Q4.1 技術的側面 - もし**回答が Yes の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

(1) 技術能力

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、あなたには、研修活動を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が十分備わると思えますか？ | Yes No n/a | |
| (b) プロジェクト終了までにさらに向上が必要な課題が何かありますか？ | Yes No n/a | |

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) センターは、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラムなど)をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) センターによる日中林業協力の情報発信機能(資料室整備、WEB更新など)は今後も継続される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラムなど)をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後にも彼らの事業に活用していくことができると見込まれますか？ | Yes No n/a | |

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、センター/CP には供与機材を独自で維持管理する能力が備わると思えますか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

Q4.3 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 その他 -もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください（3つ以内）

| |
|----------------|
| 1. 2. 3. |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q3 国家林業局人事教育司 C/P への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆様のご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | 所属先/ 職位 | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | プロジェクトにおける役割 |
|---|----|------------|-----------------------------|--------------|
| 1 | | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント(判断の根拠、等)をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |
|------------------------|-------------------------|------------------|

パート I

研修コース

Q1.1 研修コースに関する評価: 回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの研修コース(カリキュラム、教材を含む)は県レベルの六大林業重点事業を実施する林業関係職員にとって有益ですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクトで作成された研修のカリキュラム・教材は研修資料として有益ですか？ | Yes No n/a. | |

Q1.2 研修コース・カリキュラム等の活用事例

| | | |
|---|-------------------|---------------------------------------|
| (1) 研修受講者が研修で習得した内容を事業で応用した事例を知っていますか？事例があれば教えてください(3つ以内) | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1) 2) 3) |
|---|-------------------|---------------------------------------|

パート II

プロジェクト・ディレクターへの質問票がベースです

実施プロセス

Q1.1 実施体制: Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.2 意思決定及びモニタリングのプロセス: Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (2) プロジェクトのモニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されてきましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.3 プロジェクト内のコミュニケーション . Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (3) 活動の実施にあたって、地方拠点とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |

パート III

PD/PM への質問票 Q1 がベースです

Q1 プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 必要性

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) 中国のニーズ :上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6 大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」は今でも中国のニーズに適合していますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 受益者のニーズ :プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6 大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は今でも受益者(研修員)のニーズに合致していますか？ | Yes No n/a | |

幹部学院 CP への質問票 Q3がベースです

Q2 プロジェクトの投入

Q2.1 日本側の投入: これまでのところ、以下の日本側投入は適切だったでしょうか？ (A=Appropriate(適切),

F=Fair(まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

PD/PM への質問票 Q3がベースです

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1 上位目標レベルのインパクト—もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

■上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6 大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) プロジェクト終了 3 年後に、上位目標は達成されると予測されますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 以下の外部条件は満たされる見込みですか？ | | |
| a 研修に参加した多くの職員が自然 | Yes No | |

| | | |
|-----------------------|------------------|--|
| 環境保護事業を続ける | n/a | |
| b 研修予算が確保される | Yes No n/a | |
| c 他の既存研修コースが継続的に実施される | Yes No n/a | |

Q3.2. 既に発現したインパクト:これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度面、組織面(幹部学院を含む国家林業局、省林業局、県林業局など)、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？ **回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.3. 予測されるインパクト:プロジェクトの実施によってもたらされうるプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度面、組織面(幹部学院を含む国家林業局、省林業局、県林業局など)、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？ **回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

PD/PM への質問票 Q4 がベースです

Q4. プロジェクトの自立発展性の見直し

4.1 政策支援

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 6 大林業重点事業等の森林・自然環境保全分野の現行の政策・計・計画は今後も継続すると考えられますか？ | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

Q4.2 財政的側面 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクト終了後も、研修センターが研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクト終了後も、地方拠点が研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a. | |

Q4.3 技術的側面 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/

阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

(1) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及-もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラムなど)は国家林業局の他部署や他省などにも普及されると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後にも彼らの事業に活用していくことができると見込まれますか？ | Yes No n/a | |

4.2 その他 -もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください(3 つ以内)

| |
|----------------|
| 1) 2) 3) |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q4 国家林業局六大弁公室 C/P への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆さんのご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | 所属先/ 職位 | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | プロジェクトにおける役割 |
|---|----|------------|-----------------------------|--------------|
| 1 | | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント（判断の根拠、等）をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |

パート I

研修コース

Q1.1 研修コースに関する評価：回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの研修コース（カリキュラム、教材を含む）は県レベルの六大林業重点事業を実施する林業関係職員にとって有益ですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクトで作成された研修のカリキュラム・教材は研修資料として有益ですか？ | Yes No n/a. | |

Q1.2 研修コース・カリキュラム等の活用事例

| | | |
|---|-------------------|---------------------------------------|
| (1) 研修受講者が研修で習得した内容を事業で応用した事例を知っていますか？事例があれば教えてください（3つ以内） | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1) 2) 3) |
|---|-------------------|---------------------------------------|

パート II

実施プロセス

Q1.1 実施体制：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.2 意思決定及びモニタリングのプロセス：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (2) プロジェクトのモニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されてきましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.3 プロジェクト内のコミュニケーション：Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (3) 活動の実施にあたって、地方拠点とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 必要性

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 中国のニーズ ：上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」は今でも中国のニーズに適合していますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 受益者のニーズ ：プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は今でも受益者（研修員）のニーズに合致していますか？ | Yes No n/a | |

Q2. プロジェクトの投入

Q2.1 日本側の投入：これまでのところ、以下の日本側投入は適切だったでしょうか？

(A=Appropriate(適切), F=Fair (まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

人事教育司への質問票に比べて Q3.1 がありません (以下、数字を繰り上げ)

Q3. プロジェクトのインパクト

Q3.1. **既に発現したインパクト**：これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度面、組織面（幹部学院を含む国家林業局、省林業局、県林業局など）、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.2. 予測されるインパクト：プロジェクトの実施によってもたらされうるプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度面、組織面（幹部学院を含む国家林業局、省林業局、県林業局など）、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

人事教育司への質問票に比べて Q4.2&4.3.がありません（以下、数字を繰り上げ）

Q4. プロジェクトの自立発展性の見通し

4.1 政策支援

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 6 大林業重点事業等の森林・自然環境保全分野の現行の政策・計・計画は今後も継続すると考えられますか？ | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

4.2 その他 -もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください（3つ以内）

| |
|----------------|
| 1) 2) 3) |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q5 地方拠点のプロジェクト関係者への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆様のご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしく願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | | 名前 | 配置期間 (例 2004年10月～現在) | プロジェクトにおける役割 |
|---|-----------|----|-------------------------|--------------|
| 1 | プロジェクト責任者 | | | |
| 2 | プロジェクト担当者 | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント(判断の根拠、等)をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか? | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |
|------------------------|-------------------------|------------------|

パート I (国家林業局人事教育司への質問票がベースです)

プロジェクトの研修について

Q1.1 地方研修拠点との研修体制整備計画: 回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトが作成した地方研修拠点との研修体制整備計画は適切だと思いますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 研修体制整備計画に基づいて構築された研修体系は適切だと思いますか？ | Yes No n/a. | |
| (3) 上記研修体系はプロジェクト後も機能すると思いますか？ | Yes No n/a. | |
| (4) 研修ネットワーク協調委員会は適切に機能していますか？ | Yes No n/a. | |
| (6) プロジェクト終了後、研修ネットワーク協調委員会は継続すると思いますか？ | Yes No n/a. | |

Q1.2 研修コースに関する評価: 回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの研修コース(カリキュラム、教材を含む)は県レベルの六大林業重点事業を実施する林業関係職員にとって有益ですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクトで作成された研修のカリキュラム・教材は研修資料として有益ですか？ | Yes No n/a. | |

Q1.3 研修コース・カリキュラム等の活用事例

| | | |
|---|-------------------|---|
| (1) 研修受講者が研修で習得した内容を事業で応用した事例を知っていますか？事例があれば教えてください(3つ以内) | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. 3 |
| (2) プロジェクトで作成した研修カリキュラム及び研修教材の開発手法が、既に省の他部署に導入された事例を知っていますか？事例があれば教えてください(3つ以内) | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3 |

パート II PD/PM への質問票がベースです

実施プロセス

Q1.1 活動の進捗状況: 判断の理由もお書き下さい

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 地方拠点においては、どのようなプロジェクト活動が行われていますか？ | | |
| (2) プロジェクトの活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？もし <u>Yes</u> であれば、 <u>主要な問題を列記してください(3つ以内)</u> 。さらに、 <u>下の(4)にも回答してください</u> 。 | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問 (2)の回答が <u>Yes</u> の場合、 <u>列記された問題は解決されましたか？問題ごとに Yes か No かお答えください</u> 。もし、 <u>Yes</u> の場合は、 <u>どのように解決したか</u> 、 <u>No</u> の場合は、 <u>その理由と取るべきアクションを教えてください</u> | | (上記 (2) の回答が <u>Yes</u> の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |

Q1.2 意思決定及びモニタリングのプロセス: Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) 地方拠点ではプロジェクトに関する意思決定はどのように行われていますか？ | | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) 地方拠点では、プロジェクトのモニタリングはどのように行われていますか？ | | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、遅延なく適切に解決されてきましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.3 プロジェクト内のコミュニケーション . Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院・国家林業局とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動の実施にあたって、他の地方拠点とのコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、日本人専門家とのコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a. | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.4 プロジェクト関係者との連携 . Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、地方拠点と各省林業局との連携(各省林業局の参加、コミュニケーション等)は適切でしたか? | Yes No n/a. | |
| (2) 活動の実施にあたって、地方拠点と各県林業局との連携(各県林業局の参加、コミュニケーション等)は適切でしたか? | Yes No n/a. | |
| (3) 連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか? | Yes No n/a. | |

パート III Q1 は PD/PM への質問票の Q1 がもとです。

Q1. プロジェクトの必要性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 必要性

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 受益者のニーズ: プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6 大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は受益者(研修受講者)のニーズに合致していますか? | Yes No n/a | |
| (2) 地方拠点のニーズ: プロジェクト目標「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6 大林業重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される」は地方拠点の組織的ニーズに合致していますか? | Yes No n/a | |

Q2 は 幹部学院 CP への質問票の Q2 がベースです。

Q2. 投入

Q2.1 日本側の投入: これまでのところ、以下の日本側投入は適切だったでしょうか? (A=Appropriate(適切), F=Fair(まあまあ), NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか?

(1) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

(2) 日本から供与された機材

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 供与のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 機材の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 機材の品目、スペック、質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 機材の維持管理 | A・F・NA・n/a. | |
| (e) 機材の活用 | A・F・NA・n/a. | |

Q3 は PD/PM への質問票 Q3 がベースです (同質問票の Q3.1 がなく、以下数字が繰り上がります)

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1. 既に発現したインパクト:これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|------|----|
| (1) プラスのインパクト | Yes | 1) |
| | No | 2) |
| | n/a. | 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes | 1) |
| | No | 2) |
| | n/a. | 3) |

Q3.2. 予測されるインパクト:プロジェクトの実施によってもたらされうるプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|------|----|
| (1) プラスのインパクト | Yes | 1) |
| | No | 2) |
| | n/a. | 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes | 1) |
| | No | 2) |
| | n/a. | 3) |

Q4 は PD/PM への質問票 Q4 がベースです。

Q4 プロジェクトの自立発展性(プラスの効果の持続)の見通し

Q4.1 組織的側面-もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

(1) 組織戦略(出口戦略)あなたの所属する拠点には、以下の分野における、プロジェクト終了後の活動継続・発展に関する方針・戦略がありますか？(あるいは今後作成する計画がありますか？)

| | | |
|----------------------|------------------|--|
| (a) 省内における自主研修の継続・発展 | Yes No n/a | |
| (b) 省外への協力 | Yes No n/a | |

(2) 人員の配置

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) 地方拠点のCP(プロジェクトスタッフ)はプロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点のCP(プロジェクトスタッフ)はプロジェクト終了後も当該機関に勤務すると考えられますか？ | Yes No n/a | |
| (c) 研修受講者はプロジェクト終了後も関連ポストに配置される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修受講者はプロジェクト終了後も6大林業重点事業に係わる仕事を続けると考えられますか？ | Yes No n/a | |

(3) 組織的運営能力

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 地方拠点には、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

(4) 関連機関との連携

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了後、地方拠点と研修センター(幹部学院)との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (b) プロジェクト終了後、他の地方拠点との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) プロジェクト終了後、地方拠点と省の関連機関(各省・県林業局を含む)との連携は継続・強化される見込みですか？ | Yes No n/a | |

Q4.2 財政的側面 -もし回答が **Yes**, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No** の場合、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) プロジェクトの活動に関する予算の財源は何ですか？ | . | |
| (2) プロジェクトの活動に関する予算は十分ですか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト終了後も、地方拠点が研修事業を継続するために必要な予算は確保される見込みですか？ | Yes No n/a | |

Q4.3 技術的側面 -もし回答が **Yes**, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No** の場合、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

(1) CP の技術能力

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、地方拠点のCPは、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わると考えますか？ | Yes No n/a | |
|---|------------------|--|

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及-もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・スキル・知識や 成果品(マニュアル、テキスト等)を事業に活用していますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・スキル・知識や 成果品(マニュアル、テキスト等)をプロジェクト終了後にも事業に活用・普及していくことができると思えますか？ | Yes No n/a | |
| (c) 研修受講者は研修によって得た技術・スキル・知識や成果品(マニュアル・テキスト等)を、プロジェクト終了後に彼らの事業に活用していくことができると思えますか？ | Yes No n/a | |

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、CP に供与機材を独自で維持管理する能力が備わると思えますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 供与機材の維持管理システムは確立されていますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.5 その他 -もし上記以外に、プロジェクトのプラスの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください(3つ以内)

| |
|----------------|
| 1. 2. 3. |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q6 チーフ・アドバイザーへの質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆様のご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | 技術分野 | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | (1) 担当アウトプット (2) プロジェクトにおける役割 |
|---|----|------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 | | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント（判断の根拠、等）をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|---------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|

| | | |
|------------------------|-------------------------|------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |
|------------------------|-------------------------|------------------|

パート I

プロジェクトの実績

回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

Q1.1 プロジェクト目標の実績：プロジェクト終了までに以下の指標は達成されると思いますか？

| | | |
|---|---|--|
| (1) 研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | Fully Mostly Partly Not at all | |
|---|---|--|

Q1.2 上位目標の実績(見込み)：プロジェクト終了 3 年後に以下の指標は達成されていると思いますか？-回答が Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

(1) 幹部学院及び地方拠点における研修

| | | |
|---|-------------------|--|
| (a) 幹部学院において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が幹部学院で実施される | Yes No n/a. | |
| (b) 地方拠点において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が実施される | Yes No n/a. | |

(2) 地方拠点以外への研修の拡大

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 幹部学院の技術支援の下、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が地方拠点以外で実施される | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

パート II

実施プロセス

Q1.1 活動の進捗状況：判断の理由もお書き下さい

| | | |
|---|-------------------|--|
| (1) 全般にプロジェクトの活動は計画通り進んでおり、PO に記された活動はプロジェクト終了までに完了する見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？もし <u>Yes</u> であれば、 <u>主要な問題を列記してください (3 つ以内)</u> 。さらに、下の(4)にも回答してください。 | Yes No n/a. | (Yes の場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問 (3) の回答が <u>Yes</u> の場合、列記された問題は解決されましたか？ <u>問題ごとに Yes か No かお答えください</u> 。もし、 <u>Yes</u> の場合は、 <u>どのように解決したか</u> 、 <u>No</u> | 1. 2. 3. | (上記 (3) の回答が <u>Yes</u> の場合のみ記入してください) |

| | |
|-----------------------------|--|
| の場合は、その理由と取るべきアクションを教えてください | |
|-----------------------------|--|

Q1.2 実施体制：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.3 意思決定及びモニタリングのプロセス：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定はどのように行われていますか？ | / | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト内部のモニタリング・システムはどのようになっていますか？ | / | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.4 プロジェクト内のコミュニケーション：Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院及び国家林業局のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、幹部学院及び地方拠点のコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、幹部学院と日本人専門家の間のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.5 プロジェクト関係者との連携：Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策（あるいは取るべき対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各省林業局との連携（各省林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各県林業局との連携（各県林業局の参加、コミュニケーション等）は適切でしたか？ | Yes No n/a | |

| | | |
|---|------------------|--|
| ン等) は適切でしたか? | | |
| (3) 上記プロジェクトとの連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか? | Yes No n/a | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 手段としての適切さ

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 戦略・アプローチ：プロジェクトの戦略・アプローチは、現在でも現地の状況に適していますか? | Yes No n/a | |
| (2) 日本の技術の優位性：今でも、日本側に、プロジェクトに関する技術的優位性はあると思いますか? | Yes No n/a | |

Q2. プロジェクト目標

Q2.1 プロジェクト目標達成度

(Fully=十分に、Mostly=おおむね、Partly=部分的に、Not at all=全くない)

プロジェクト目標：「日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、6大重点事業に係わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が研修センターを中心に整備される」

| | | |
|--|---|--|
| (1) プロジェクト終了までに、プロジェクト目標はどの程度達成されると思いますか？ - 回答が <u>Fully</u> か <u>Mostly</u> の場合、判断の理由を。 <u>Partly</u> か <u>Not at all</u> の場合、阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）を答えてください。 | Fully Mostly Partly Not at all n/a. | |
|--|---|--|

Q3. アウトプットと投入の関係

Q3.1 中国側の投入：これまでのところ、以下の投入はアウトプット産出に適切だったでしょうか？

(A=Appropriate(適切), Fair (まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が Fか NA の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) C/P の配置

| | | |
|-------------------|------------|--|
| (a) 配置のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) C/P の数、配置期間 | A・F・NA・n/a | |
| (c) C/P の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a | |

(2) 施設・機材（研修施設・専門家執務室・研修機材）

| | | |
|----------------|------------|--|
| (a) 提供のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) 量（スペース、数等） | A・F・NA・n/a | |
| (c) 質 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 活用 | A・F・NA・n/a | |

| | | |
|----------|------------|--|
| (e) 維持管理 | A・F・NA・n/a | |
|----------|------------|--|

(3) 中国政府の予算措置（研修実習経費、C/Pの活動費等）

| | | |
|--------------|------------|--|
| (a) 投入のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) 量 | A・F・NA・n/a | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a | |

Q3.2 日本側の投入：これまでのところ、以下の投入はアウトプット産出に適切だったでしょうか？

(A=Appropriate(適切), F=Fair (まあまあ) , NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) 長期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(2) 短期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(3) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

(4) 日本から供与された機材

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 供与のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 機材の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 機材の品目、スペック、質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 機材の維持管理 | A・F・NA・n/a. | |
| (e) 機材の活用 | A・F・NA・n/a. | |

(5) 日本側の在外事業強化費

| | | |
|-----------|-------------|--|
| (a) タイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 量 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a. | |

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1 上位目標レベルのインパクトーもし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

■上位目標「全国の県レベルの林業関係職員に対し研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、6 大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される」

| | | |
|--------------------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクト終了 3 年後に、上位目標は達成されると思いますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 以下の外部条件は満たされる見込みですか？ | | |
| a 研修に参加した多くの職員が自然環境保護事業を続ける | Yes No n/a | |
| b 研修予算が確保される | Yes No n/a | |
| c 他の既存研修コースが継続的に実施される | Yes No n/a | |

Q3.2. 既に発現したインパクト：これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？回答が Yes の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.3. 予測されるインパクト：プロジェクトの実施によってもたらされうるプラスあるいはマイナスのインパクト（例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等）が何かありますか？回答が Yes の場合、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q4. プロジェクトの自立発展性の見通し

Q4.1 組織・制度的側面ーもし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) **組織戦略(出口戦略)**: 研修センター/国家林業局幹部学院には、以下の分野における、プロジェクト終了後の活動継続・発展に関する方針・戦略がありますか？（あるいは今後作成する計画がありますか？）

| | | |
|--------------------|------------------|--|
| (a) 地方拠点省へのフォローアップ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点以外の省への普及 | Yes No n/a | |
| (b) 日中林業協力の拠点機能 | Yes No n/a | |

(2) **組織的運営能力**

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 研修センターには、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点には、プロジェクト終了後も独自で研修事業を運営管理する組織的能力がありますか？ | Yes No n/a | |

(3) **関連機関との連携**

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了後、研修センターと8拠点との連携は継続・強化されると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) プロジェクト終了後もその他の関連機関との連携は継続・強化されると見込まれますか？ | Yes No n/a | |

Q4.2 **財政的側面** - もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクト終了後も、研修センターが研修事業を継続するために必要な予算は確保されると思いますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) プロジェクト終了後も、地方拠点が研修事業を継続するために必要な予算は確保されると思いますか？ | Yes No n/a. | |

Q4.3 **技術的側面** - もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

(1) **CPの技術能力**

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) <u>幹部学院 CPの技術的能力</u> : プロジェクト終了までに、中央のCPは、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わりますか？ | Yes No n/a | |
| (b) <u>地方拠点のCPの技術的能力</u> : プロジェクト終了までに、地方拠点のCPは、 | Yes No | |

| | | |
|--|-----|--|
| 研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わると思いますか？ | n/a | |
|--|-----|--|

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及・もし回答が Yes, の場合、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、No の場合、理由/阻害要因・取るべき対策（あるいは既にとった対策）は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) 研修センターは、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 研修センターによる日中林業協力の情報発信機能（資料室整備、WEB 更新など）は今後も継続される見込みですか？ | Yes No n/a | |
| (c) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品（研修教材・マニュアル・カリキュラムなど）をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後にも彼らの事業に活用していくことができると見込まれますか？ | Yes No n/a | |

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、C/P に供与機材を独自で維持管理する能力が備わると思いますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 供与機材の維持管理システムは確立されていますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.5 その他・もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください（3つ以内）

| |
|----------------|
| 1. 2. 3. |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

Q7 専門家への質問票

この質問票は日中林業生態研修センタープロジェクトの終了時評価調査のための基本的情報を収集するために作成されました。質問票の回答内容は、今回の評価の目的だけに利用されます。評価調査を効率的・効果的に行うためには、評価団が、質問票の質問事項に関する皆さんのご意見・コメントを前もって入手することは非常に重要ですので、お忙しい中、恐縮ですが、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、回答は、電子ファイルに直接ご記入いただき、4月10日までに成海さんまでご提出願います。

日にち: 2009年4月 日

回答者の情報

| | 名前 | 技術分野 | 配置期間 (例 2004年10月～ 現在) | (1) 担当アウトプット (2) プロジェクトにおける役割 |
|---|----|------|-----------------------------|----------------------------------|
| 1 | | | | |

回答前にお読み下さい

質問票は、回答が選択できるようになっています。以下の要領でご記入願います。

1. 選択する回答にアンダーラインを引いてください。
2. 回答の右横のスペースにコメント(判断の根拠、等)をお書き下さい。
3. もし、情報不足や回答する立場にないなどの理由で、質問の内容に対して回答できない場合は、n/a(not available, not applicable の意味です)を選択してください。

回答例

| | | |
|------------------------|-------------------------|----------------------------|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | <u>Yes</u> No n/a | (判断理由や、あれば具体例をコメントしてください) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes <u>No</u> n/a | (阻害要因や取るべき対策などをコメントしてください) |
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No <u>n/a</u> | (特にコメントは必要ありません) |

パート I

プロジェクトの実績

回答がYesの場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、Noの場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

Q1.1 プロジェクト目標の実績:プロジェクト終了までに以下の指標は達成されると思いますか？

| | | |
|---|---|--|
| (1) 研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 | Fully Mostly Partly Not at all | |
|---|---|--|

Q1.2 上位目標の実績(見込み):プロジェクト終了3年後に以下の指標は達成されていると思いますか？-回答がYesの場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、Noの場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

(1) 幹部学院及び地方拠点における研修

| | | |
|---|-------------------|--|
| (a) 幹部学院において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が幹部学院で実施される | Yes No n/a. | |
| (b) 地方拠点において、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が実施される | Yes No n/a. | |

(2) 地方拠点以外への研修の拡大

| | | |
|--|-------------------|--|
| (a) 幹部学院の技術支援の下、本プロジェクトの研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が地方拠点以外で実施される | Yes No n/a. | |
|--|-------------------|--|

パート II

実施プロセス

Q1.1 担当アウトプットの活動の進捗状況:判断の理由もお書き下さい

| | | |
|--|---|--------------------------------------|
| (1) 全般にプロジェクトの活動は計画通り進んでおり、POに記された活動はプロジェクト終了までに完了する見込みですか？ | Yes No n/a. | |
| (2) 活動に関して何か問題を感じたり、遭遇したことがありますか？もしYesであれば、主要な問題を列記してください(3つ以内)。さらに、下の(4)にも回答してください。 | Yes No n/a. | (Yesの場合のみ記入してください) 1. 2. 3. |
| (3) 上記質問(2)の回答がYesの場合、列記された問題は解決されましたか？問題ごとにYesかNoかお答えください。もし、Yesの場合は、どのように解決したか、Noの場合は、その理由と取るべきアクションを教えてください | (上記(2)の回答がYesの場合のみ記入してください) 1. 2. 3. | |

| | |
|-----|--|
| ださい | |
|-----|--|

Q1.2 実施体制: Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|------------------------|------------------|--|
| (1) プロジェクトの実施体制は適切ですか？ | Yes No n/a | |
|------------------------|------------------|--|

Q1.3 意思決定及びモニタリングのプロセス: Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) プロジェクトの意思決定はどのように行われていますか？ | / | |
| (2) 意思決定は適切に行われてきますか？ | Yes No n/a | |
| (3) プロジェクト内部のモニタリング・システムはどのようになっていますか？ | / | |
| (4) モニタリングの過程で指摘された課題は、日本側中国側双方によって、遅延なく適切に解決されてきましたか？ | Yes No n/a. | |

Q1.4 プロジェクト内のコミュニケーション . Yes の場合、具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|-------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、幹部学院及び国家林業局のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、幹部学院及び地方拠点のコミュニケーションは適切でしたか？ | | |
| (3) 活動の実施にあたって、幹部学院と日本人専門家の間のコミュニケーションは適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (4) プロジェクト内のコミュニケーションを円滑にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/.a | |

Q1.5 プロジェクト関係者との連携 . Yes の場合、判断理由・具体例があれば記してください。また、No の場合、阻害要因・取られた対策(あるいは取るべき対策)は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (1) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各省林業局との連携(各省林業局の参加、コミュニケーション等)は適切でしたか？ | Yes No n/a | |
| (2) 活動の実施にあたって、プロジェクトと各県林業局との連携(各県林業局の参加、コミュニケーション等)は適 | Yes No n/a | |

| | | |
|---|------------------|--|
| 切でしたか？ | | |
| (3) 上記プロジェクトとの連携を適切にするために、何かアクションをとりましたか？ | Yes No n/a | |

Q1.6 その他の貢献・阻害要因: 回答が **Yes の場合**, 具体例を記してください

| | | |
|-----------------------------------|-------------------|--|
| (1) その他、活動の円滑な実施に貢献した要因が何かありますか？ | Yes No n/a. | |
| (2) その他、活動の円滑な実施に悪影響を与えた要因はありますか？ | Yes No n/a. | |

パート III

Q1. プロジェクトの妥当性

判断の理由・具体例も述べてください。

Q1.1 手段としての適切さ

| | | |
|---|------------------|--|
| (1) 戦略・アプローチ: プロジェクトの戦略・アプローチは、現在でも現地の状況に適していますか？ | Yes No n/a | |
| (2) 日本の技術の優位性: 今でも、日本側に、プロジェクトに関する技術的優位性はあると思いますか？ | Yes No n/a | |

Q2. 担当アウトプットと投入の関係

Q2.1 中国側の投入: これまでのところ、以下の投入はアウトプット産出に適切だったでしょうか？

(A=Appropriate(適切), Fair(まあまあ), NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか？

(1) C/P の配置

| | | |
|-------------------|------------|--|
| (a) 配置のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) C/P の数、配置期間 | A・F・NA・n/a | |
| (c) C/P の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a | |

(2) 施設・機材(研修施設・専門家執務室・研修機材)

| | | |
|----------------|------------|--|
| (a) 提供のタイミング | A・F・NA・n/a | |
| (b) 量(スペース、数等) | A・F・NA・n/a | |
| (c) 質 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 活用 | A・F・NA・n/a | |
| (e) 維持管理 | A・F・NA・n/a | |

(3) 中国政府の予算措置(研修実習経費、C/P の活動費等)

| | | |
|--------------|------------|--|
| (a) 投入のタイミング | A・F・NA・n/a | |
|--------------|------------|--|

| | | |
|--------|------------|--|
| (b) 量 | A・F・NA・n/a | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a | |

Q2.2 日本側の投入: これまでのところ、以下の投入はアウトプット産出に適切だったでしょうか?

(A=Appropriate(適切), F=Fair(まあまあ), NA=Not appropriate(適切ではない))

—もし回答が **F**か**NA** の場合、理由・具体例は何ですか?

(1) 長期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(2) 短期専門家

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 派遣のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 派遣期間、専門家の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 専門家の分野と技術レベル | A・F・NA・n/a. | |

(3) 日本での研修

| | | |
|---------------------------|-------------|--|
| (a) 研修のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 研修期間、研修人数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 研修の分野・内容・質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 研修で学んだことのプロジェクト活動への活用 | A・F・NA・n/a. | |

(4) 日本から供与された機材

| | | |
|------------------|-------------|--|
| (a) 供与のタイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 機材の数 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 機材の品目、スペック、質 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 機材の維持管理 | A・F・NA・n/a. | |
| (e) 機材の活用 | A・F・NA・n/a. | |

(5) 日本側の在外事業強化費

| | | |
|-----------|-------------|--|
| (a) タイミング | A・F・NA・n/a. | |
| (b) 量 | A・F・NA・n/a. | |
| (c) 活用 | A・F・NA・n/a. | |
| (d) 管理 | A・F・NA・n/a. | |

Q3 プロジェクトのインパクト

Q3.1. 既に発現したインパクト: これまでのところ、プロジェクトの実施によってもたらされたプラスあるいはマイナ

スのインパクト(例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q3.2. 予測されるインパクト:プロジェクトの実施によってもたらされるプラスあるいはマイナスのインパクト(例えば、政策・制度、幹部学院を含む国家林業局、地方拠点、省林業局、県林業局など政府組織、研修受講者、技術面、環境面、社会面へのインパクト等)が何かありますか？**回答が Yes の場合**、具体例を列挙してください。

| | | |
|----------------|-------------------|----------------|
| (1) プラスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |
| (2) マイナスのインパクト | Yes No n/a. | 1) 2) 3) |

Q4. プロジェクトの自立発展性の見通し

Q4.1 技術的側面 -もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

(1) CP の技術能力

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) 幹部学院 CP の技術的能力:プロジェクト終了までに、中央の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わると思いますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 地方拠点の CP の技術的能力:プロジェクト終了までに、地方拠点の CP は、研修事業を独自で計画・実施・モニタリング・評価でき、研修分野での新しい課題に対処できる能力が備わると思いますか？ | Yes No n/a | |
| (c) プロジェクト終了までにさらに向上が必要な課題が何かありますか？ | Yes No n/a | |

(2) 移転技術及びプロジェクト成果品の活用・普及-もし**回答が Yes, の場合**、判断の理由・具体例・具体的方法を述べてください。もし、**No の場合**、理由/阻害要因・取るべき対策(あるいは既にとった対策)は何ですか？

| | | |
|--|------------------|--|
| (a) 研修センターは、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラムなど)をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 研修センターによる日中林業協力の情報 | Yes No | |

| | | |
|--|------------------|--|
| 発信機能(資料室整備、WEB 更新など)は今後も継続される見込みですか？ | n/a | |
| (c) 地方拠点は、プロジェクトによって移転された技術・方法・知識や 成果品(研修教材・マニュアル・カリキュラムなど)をプロジェクト終了後にも活用・更新・普及すると見込まれますか？ | Yes No n/a | |
| (d) 研修参加者は研修によって得た技術・スキル・知識を、プロジェクト終了後にも彼らの事業に活用していくことができると見込まれますか？ | Yes No n/a | |

(3) 供与機材の維持管理

| | | |
|---|------------------|--|
| (a) プロジェクト終了までに、C/P に供与機材を独自で維持管理する能力が備わるとお考えですか？ | Yes No n/a | |
| (b) 供与機材の維持管理システムは確立されていますか？ | Yes No n/a | |

Q4.4 社会・文化・環境面

| | | |
|-------------------------------------|------------------|--|
| (a) 社会・文化的側面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |
| (b) 環境面の自立発展性に関して留意することがありますか？ | Yes No n/a | |

Q4.5 その他 もし上記以外に、プロジェクトの効果の持続を確保するために重要だと思われる事項があれば、教えてください(3 つ以内)

| |
|----------------|
| 1. 2. 3. |
|----------------|

貴重なお時間を質問回答にさいいただき、ありがとうございました。

付属資料7.機材台帳

北京本部供与機材台帳

供与地点：国家林业局管理幹部学院

2009年4月16日現在

| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
|-------|-----|---|-------|----|------------|---------|-------|-----------------|---------|------|------|-----|-----|------|
| 2004年 | 1 | ノートPC VERSA E6000 (中文版 XP OFFICE2003 PROEM) | NEC | 15 | 222,900.00 | JICA-01 | 蘇秀麗 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-02 | 錢控提 | 楊凌職業技術学院 外事弁 | 2005年4月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-03 | 玉宝 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-04 | 彭長清 | 西北調査設計院 | 2005年4月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-05 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-06 | 王才軍 | 貴州林業学校 | 2005年4月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-07 | 王忠偉 | 中南林学院 | 2005年4月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-08 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-09 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-10 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-11 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-12 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-13 | 魏占才 | 黑龍江林業職業技術学院 | 2005年4月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-14 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | JICA-15 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 2 | ビデオカメラ MVX35i | CANON | 4 | 38,320.00 | DV-01 | 佐藤 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DV-02 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DV-03 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DV-04 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---|-----------|---|------------|-----------|-----|---------|----------|---|---|---|---|------|
| 2004年 | 3 | デジタルカメラ PowerShotA95 (512MCFカード、充 電池セット一式) | CANON | 8 | 23,840.00 | DC-01 | 佐藤 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | デジタルカメラ PowerShotA95 (256MCFカード、充 電池セット一式) | | | | DC-02 | 成海 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-03 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-04 | 劉凱峰 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-05 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-06 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-07 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | DC-08 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 4 | ビデオデッキFJ630 | PANASONIC | 2 | 3,700.00 | V-PLAY-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | V-PLAY-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 5 | 高感度スキャナー 9950F | CANON | 2 | 8,120.00 | H-SCAN-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | H-SCAN-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 6 | F A X 複合機MP730 | CANON | 1 | 3,290.00 | P/S/F 01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2004年12月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 7 | デジタルコピー機 (装订機付き) iR3200N | CANON | 1 | 162,500.00 | C-MUTI 01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 8 | カラー携帯プリンタ i180 | CANON | 7 | 15,470.00 | CP-09 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-10 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-11 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-12 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-13 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-14 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-15 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 9 | 電子白板UB-5328 | PANASONIC | 2 | 17,860.00 | EBD-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | EBD-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|-----------------------|---------|----|------------|---------------|-----|---------|---------|---|---|---|---|------|
| 2004年 | 10 | 液晶テレビLCD-32G1 | SHARP | 2 | 58,600.00 | TV-LCD-01 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | TV-LCD-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-03 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 11 | カラープリンター iP3000 | CANON | 8 | 11,760.00 | CP-04 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-05 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-06 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-07 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | CP-08 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 12 | 複合プロジェクター TLP-T621 | TOSHIBA | 2 | 64,140.00 | PROJ-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | PROJ-02 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-01 | 畢佳 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-02 | 劉凱峰 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-03 | 孟克 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-04 | 蘇秀麗 | P J 事務所 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-05 | 朱延福 | 学院 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-06 | 汪国中 | 学院 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-07 | 胡根全 | 学院 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 13 | 外付けHDD 80G | HITACHI | 15 | 23,100.00 | M-HD-08 | 汪国中 | 学院 | 2005年1月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-09 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-10 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-11 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-12 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-13 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-14 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | | | | | | M-HD-15 | 張宝元 | 学院総務処 | 2005年2月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2004年 | 14 | ジープ | 三菱 | 2 | 610,000.00 | PAJERO SPORTS | 張宝元 | 学院総務処 | 2004年5月 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|--------------------|------------------------|----|----------------|------------------|-----|---------|----------|---|---|---|----|------|
| 2005年 | 15 | 中型バス | 四川豊田 | 1 | 358,100.00 | COASTER | 張宝元 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 16 | 研修用PC教室設備 | 三星博聞 | 1 | 370,800.00 | LENOVO | 張宝元 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 17 | 同時通訳機 | 視通天地 | 1 | 403,000.00 | BOSCH | 張宝元 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 18 | 土壌水分測定器 | 北京格拉威 尔科技有限 責任公司 | 2 | 35,600.00 | HHZ/ML2x | 張宝元 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| | 19 | 土壌養分測定器 | | 2 | 11,000.00 | RL-30-1 | 張宝元 | 学院総務処 | | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 20 | ミニバン | トヨタ | 1 | 4,200,000(JPY) | PREVIA WAGON GL | 張宝元 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1 | 本邦調達 |
| | 21 | 小型バス | トヨタ | 1 | 3,980,000(JPY) | HIACE COMMUTER | 張宝元 | 学院総務処 | | A | A | 0 | 1 | 本邦調達 |
| 2006年 | 22 | GPS | 星源通 | 3 | 44,000.00 | 星源通 | 劉凱峰 | PJ事務所 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| | | | | 2 | | | 汪国中 | 学院国際合作司 | | A | A | 0 | 2 | 現地調達 |
| 2006年 | 23 | マルチメディアアシス テムー式 | 北京尚為視 訊科技有限 公司 | 1式 | 289,309.00 | 北京尚為視訊科技 有限公司 | 劉凱峰 | 学院総務処 | 上午12時00分 | A | A | 0 | 1式 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

1. 黒龍江研修拠点：黒龍江林業職業技術学院 日援項目弁公室

2009年4月16日現在

| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
|-------|-----|----------------------|-----------|----|-----------|----------------|-------|-------------|-------------|------|------|-----|-----|------|
| 2005年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 64,800.00 | E-STUDIO 351c | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 2 | デジタルカメラ | CHANON | 1 | 3,900.00 | PowerShot A620 | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 3 | プロジェクター | TOSHIBA | 1 | 12,500.00 | TDP-T30 | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 4 | ノートPC | TOSHIBA | 3 | 41,640.00 | Pro M19 | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2005年 | 5 | ビデオカメラ | SONY | 1 | 6,600.00 | DCR-DVD703E | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 6 | 外付けHDD | NEWMAN | 3 | 4,650.00 | 新紐曼之星 | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2005年 | 7 | プリンター(ネットワーク、白黒レーザー) | PANASONIC | 1 | 4,100.00 | KX-P7310N | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2005年 | 8 | FAX複合機 | CANON | 1 | 3,380.00 | PIXMA MP 780 | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2005年12月29日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 9 | GPS | GARMIN | 40 | 83,200.00 | eTrex VENTURE | 劉曉春 | 黒龍江林業職業技術学院 | 2006年4月26日 | A | A | 0 | 40 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

2009年4月16日現在

2. 福建研修拠点：福建林業職業技術学院 日援項目弁公室

| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現存数 | 備考 |
|-------|-----|----------------------|---------|----|-----------|----------------|-------|------------|------------|------|------|-----|-----|------|
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 62,950.00 | E-STUDIO 351c | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | CHANON | 1 | 3,490.00 | PowerShot A620 | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | プロジェクター | TOSHIBA | 1 | 11,500.00 | TDP-T9 | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 4 | ノートPC | TOSHIBA | 2 | 12,950.00 | Satellite M50 | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 2 | 現地調達 |
| | | | Acer | 1 | 13,900.00 | 5502Z WXM i | | | | | | | | |
| 2006年 | 5 | ビデオカメラ | JVC | 1 | 8,200.00 | MG60AC | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 6 | 外付けHDD | NEWMAN | 3 | 1,480.00 | 新紐曼之星 | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2006年 | 7 | プリンター（ネットワーク、白黒レーザー） | HP | 1 | 3,960.00 | Laserjet 1320N | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 8 | FAX複合機 | CANON | 1 | 3,240.00 | PIXMA MP 780 | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 9 | GPS | GARMIN | 40 | 83,200.00 | eTrex VENTURE | 周小華 | 福建林業職業技術学院 | 2006年4月26日 | A | A | 0 | 40 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
|-------|-----|----------------------|---------|----|-----------|----------------|-------|--------------|------------|------|------|-----|-----|------|
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 62,950.00 | E-STUDIO 351c | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | CHANON | 1 | 3,490.00 | PowerShot A620 | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | プロジェクター | TOSHIBA | 1 | 11,500.00 | TDP-T9 | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 4 | ノートPC | TOSHIBA | 2 | 12,950.00 | Satellite M50 | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 2 | 現地調達 |
| | | | Acer | 1 | 13,900.00 | 5502Z WXMi | | | | | | | | |
| 2006年 | 5 | ビデオカメラ | JVC | 1 | 8,200.00 | MG60AC | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 6 | 外付けHDD | NEWMAN | 3 | 1,480.00 | 新紅曼之星 | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2006年 | 7 | プリンター(ネットワーク、白黒レーザー) | HP | 1 | 3,960.00 | LaserJet 1320N | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 8 | FAX複合機 | CANON | 1 | 3,240.00 | PIXMA MP 780 | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 9 | GPS | GARMIN | 40 | 83,200.00 | eTrex VENTURE | 邵金輝 | 陝西省林業庁研修センター | 2006年4月26日 | A | A | 0 | 40 | 現地調達 |

3. 陝西研修拠点：陝西林業庁研修センター 日援項目弁公室 2009年4月16日現在

地方研修拠点供与機材台帳

| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現存数 | 備考 |
|-------|-----|----------------------|---------|----|-----------|----------------|-------|-----------|------------|------|------|-----|-----|------|
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 62,950.00 | E-STUDIO 351c | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | CHANON | 1 | 3,490.00 | PowerShot A620 | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | プロジェクター | TOSHIBA | 1 | 11,500.00 | TDP-T9 | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 4 | ノートPC | TOSHIBA | 2 | 12,950.00 | Satellite M50 | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 2 | 現地調達 |
| | | | Acer | 1 | 13,900.00 | 5502Z WXMi | | | | | | | | |
| 2006年 | 5 | ビデオカメラ | JVC | 1 | 8,200.00 | MG60AC | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 6 | 外付けHDD | NEMMAN | 3 | 1,480.00 | 新紐曼之星 | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2006年 | 7 | プリンター(ネットワーク、白黒レーザー) | HP | 1 | 3,960.00 | LaserJet 1320N | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 8 | FAX複合機 | CANON | 1 | 3,240.00 | PIXMA MP 780 | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 9 | GPS | GARMIN | 40 | 83,200.00 | eTrex VENTURE | 馮元普 | 四川省林業幹部学校 | 2006年4月26日 | A | A | 0 | 40 | 現地調達 |

4. 四川研修拠点：四川林業幹部学校 日援項目弁公室

2009年4月16日現在

地方研修拠点供与機材台帳

| 5. 湖北研修拠点：湖北林木育種研修計画 日援項目弁公室 | | | | | | | | | | | 2009年4月16日現在 | | | |
|------------------------------|-----|----------------------|---------|----|-----------|----------------|-------|-----------------|------------|------|--------------|-----|-----|------|
| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 62,950.00 | E-STUDIO 351c | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | CHANON | 1 | 3,490.00 | PowerShot A620 | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | プロジェクター | TOSHIBA | 1 | 11,500.00 | TDP-T9 | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 4 | ノートPC | TOSHIBA | 2 | 12,950.00 | Satellite M50 | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 2 | 現地調達 |
| | | | Acer | 1 | 13,900.00 | 5502Z WXMi | | | | | | | | |
| 2006年 | 5 | ビデオカメラ | JVC | 1 | 8,200.00 | MG60AC | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 6 | 外付けHDD | NEWMAN | 3 | 1,480.00 | 新紐曼之星 | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 3 | 現地調達 |
| 2006年 | 7 | プリンター（ネットワーク、白黒レーザー） | HP | 1 | 3,960.00 | Laserjet 1320N | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 8 | FAX複合機 | CANON | 1 | 3,240.00 | PIXMA MP 780 | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年5月23日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 9 | GPS | GARMIN | 40 | 83,200.00 | eTrex VENTURE | 汪建亜 | 湖北省林木育種 研究計画 | 2006年4月26日 | A | A | 0 | 40 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

| 6. 貴州研修(準)拠点：貴州省林業学校 日援項目弁公室 | | | | | | | | | | | 2009年4月16日現在 | | | |
|------------------------------|-----|----------|-----------|----|-----------|---------------|-------|---------|------------|------|--------------|-----|-----|------|
| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 63,750.00 | E-STUDIO 351c | 陳登 | 貴州省林業学校 | 2006年10月9日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | PANASONIC | 1 | 3,500.00 | TZ1 | 陳登 | 貴州省林業学校 | 2006年10月9日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | ノートPC | Acer | 1 | 13,950.00 | 5585Z WXMl | 陳登 | 貴州省林業学校 | 2006年10月9日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

| 7. 新疆研修(準)拠点：新疆ウイグル自治区林業学校 日援項目弁公室 | | | | | | | | | | | 2009年4月16日現在 | | | |
|------------------------------------|-----|----------|-----------|----|-----------|---------------|-------|---------------|-------------|------|--------------|-----|-----|------|
| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現存数 | 備考 |
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 63,750.00 | E-STUDIO 351c | 于瑞徳 | 新疆ウイグル自治区林業学校 | 2006年10月11日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | PANASONIC | 1 | 3,500.00 | TZ1 | 于瑞徳 | 新疆ウイグル自治区林業学校 | 2006年10月11日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | ノートPC | Acer | 1 | 13,950.00 | 5585Z WXMl | 于瑞徳 | 新疆ウイグル自治区林業学校 | 2006年10月11日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

地方研修拠点供与機材台帳

| 8. 山西研修(準)拠点：山西省林業技工学校 日援項目弁公室 | | | | | | | | | | | 2009年4月16日現在 | | | |
|--------------------------------|-----|----------|-----------|----|-----------|---------------|-------|---------------|-------------|------|--------------|-----|-----|------|
| 供与年度 | No. | 品名及び規格 | メーカー | 数量 | 総額 | 型番/管理番号 | 管理責任者 | 管理機関 | 納品日 | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 備考 |
| 2006年 | 1 | デジタルコピー機 | TOSHIBA | 1 | 63,750.00 | E-STUDIO 351c | 牛金剛 | 山西省林業技工 学校 | 2006年10月21日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 2 | デジタルカメラ | PANASONIC | 1 | 3,500.00 | TZ1 | 牛金剛 | 山西省林業技工 学校 | 2006年10月21日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |
| 2006年 | 3 | ノートPC | Acer | 1 | 13,950.00 | 5585Z WXM | 牛金剛 | 山西省林業技工 学校 | 2006年10月21日 | A | A | 0 | 1 | 現地調達 |

携行機材（書籍）

日中林業生態研修センター計画 2009年4月16日現在

| 携行年度 | No. | 書名 | 数量 | 価格（JPY） | 利用状況 | 管理状況 | 処分数 | 現有数 | 携行月 | 備考 |
|-------|-----|-------------------|----|-----------|------|------|-----|-----|----------|-----|
| 2004年 | 1 | アンケート調査と統計解析が分かる本 | 1 | 2,000.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 2 | やさしい統計処理のテクニック | 1 | 1,900.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 3 | 教育担当者 | 1 | 2,200.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 4 | 教育訓練技法 | 1 | 2,500.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 5 | 効果を上げる研修の運営 | 1 | 2,427.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 6 | 新たな森林管理 | 1 | 3,800.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 7 | 林野小六法 | 1 | 5,500.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 8 | 森林・林業統計要覧 | 1 | 3,000.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 9 | 林業技術ハンドブック | 1 | 15,000.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 10 | 森林科学用語集 | 1 | 6,000.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 11 | 森林・林業百科事典 | 1 | 28,000.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 12 | 保安林制度 | 1 | 2,415.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 13 | 測量・空中写真 | 1 | 2,698.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 14 | 内部監査・事務改善・情報管理・広報 | 1 | 2,457.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 15 | 森林計画・経営計画 | 1 | 1,470.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 16 | 新鋸谷式間伐マニュアル | 1 | 850.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2004年 | 17 | 研究ジャーナル | 1 | 840.00 | A | A | 0 | 1 | 上午12時00分 | 佐藤 |
| 2005年 | 18 | ぼくらの村にアンズが実った | 25 | 34,000.00 | A | A | 3 | 22 | 上午12時00分 | 宇津木 |

協力期間：2004年10月18日～2009年10月17日(5年間)
 ターゲットグループ：六大林業重点事業の実施を担う県レベルの林業関係職員

プロジェクト名：日中林業生態研修センター計画
 プロジェクト対象地域：全国
 実施機関：国家林業局管理幹部学院

| プロジェクトの要約 | 指標 | 指標データ入手手段 | 外部条件 |
|--|--|--|--|
| <p>上位目標 全国の県レベルの林業関係機関職員に対し、研修機会が提供され、事業管理・技術能力が向上し、六大林業重点事業を中心とした自然環境保護事業が円滑に実施される。</p> <p>プロジェクト目標 日中林業生態研修センターが日中林業協力の拠点となり、六大林業重点事業に関わる県レベルの林業関係職員の事業管理・技術能力向上のための研修体系が同センターを中心に整備される。</p> | <p>指標</p> <p>1) 研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いて国家林業局管理幹部学院(他の研修コースを含む)及び8地方研修拠点で研修が行われる。 2) 国家林業局管理幹部学院の技術支援の下、研修カリキュラム及び研修教材の開発手法を用いた研修が、地方研修拠点以外の2省で行われる。</p> <p>1) 日中林業生態研修センターが、県レベルの林業関係職員のニーズを把握し、研修コースを開発・実施・改善できるようになる。 2) 8地方研修拠点が、日中林業生態研修センターの技術支援を受けながら、県レベルの林業関係職員に対して、現場ニーズに応じた研修を開発・実施・改善できるようになる。 3) プロジェクトのホームページ・ビュー数が年々増加する。</p> | <p>1) 管理幹部学院 地方研修拠点への質問票とインタビュー 2) 管理幹部学院、省への質問票とインタビュー</p> <p>1) プロジェクト・ディレクター(P/D)、プロジェクト・マネージャー(P/M)、研修コース開発チームのC/P及び長期専門家への質問票とインタビュー 2) 研修ネットワーク協議委員会メンバーへの質問票とインタビュー 3) プロジェクトの記録</p> | <p>・ 研修に参加した多くの職員が自然環境保護事業を続ける。 ・ 研修予算が確保される。 ・ 他の既存研修コースが継続的に実施される。</p> |
| <p>アウトプット</p> <p>1. 日中林業生態研修センターを中心に、県レベルの林業関係職員の研修実施及び人的資源開発を行うための体系が整備される。</p> <p>2. 県レベルの林業関係職員の人材育成のための研修コース(カリキュラム、テキスト)が開発・改善され、研修が実施される。</p> | <p>1) 研修計画5年計画に基づき、当年度計画が、毎年7月までに作成される。 2) プロジェクト・ドキュメントの計画通り、研修コース開発チームのカウンターパート(C/P)32名が配置され、各地方研修拠点に最低2名の人員が配置される。 3) 原則として、研修実施経費の50%がそれぞれ日中双方によって負担される。 4) 2007年9月までに研修体系整備計画が策定され、計画に基づいて構築された体系が、研修ネットワーク協議委員会メンバーに「適切であり、プロジェクト終了後も機能する」と評価される。 5) プロジェクト終了までに、研修計画5年計画に基づき、合計58のモデル研修コース(研修・人的資源分野の3コースを含む)が開発される。</p> <p>1) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で合計55のカリキュラムが開発され、カリキュラムごとに教材が開発される。 2) アウトプット2の下で行われた研修の受講者の80%が研修コースの「理解度」「活用度(反映度)」 「方法」について、3段階の中以上の評価をする。 3) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で、研修計画5年計画に基づき、合計55の研修コースが開発される(林業行政管理11、造林事業管理18、造林技術管理20、野生動物植物保護6)。 4) プロジェクト終了までに、アウトプット2の下で、合計2,173名(省級93名、県級2,080名)が研修を受講する(林業行政管理431名、造林事業管理711名、造林技術管理800名、野生動物保護231名)。</p> <p>1) プロジェクト終了までに、プロジェクトの広報資料8,000部及び六大林業重点事業広報資料3,000部が配布される。 2) プロジェクト終了までに、のべ200人以上が日中林業生態研修センターを訪問する。 3) 年1回のシンポジウムが開催される。 4) 日中林業関係資料が資料室に整備される。</p> | <p>1) プロジェクト各種報告書及び関連計画のレビュー さらに 4) 研修ネットワーク協議委員会メンバーへの質問票とインタビュー</p> <p>1) 研修実施報告書 2) 研修実施中の研修受講者へのアンケート調査結果 3) 研修実施報告書</p> | <p>3) プロジェクトの記録</p> <p>1) プロジェクト各種報告書及び関連計画のレビュー さらに 4) 研修ネットワーク協議委員会メンバーへの質問票とインタビュー</p> <p>1) 研修実施報告書 2) 研修実施中の研修受講者へのアンケート調査結果 3) 研修実施報告書</p> |
| <p>3 日中林業生態研修センターが日中の林業技術協力を中心に情報収集、蓄積、発信の拠点となる。</p> | <p>1) プロジェクト終了までに、プロジェクトの広報資料8,000部及び六大林業重点事業広報資料3,000部が配布される。 2) プロジェクト終了までに、のべ200人以上が日中林業生態研修センターを訪問する。 3) 年1回のシンポジウムが開催される。 4) 日中林業関係資料が資料室に整備される。</p> | <p>1) プロジェクト各種報告書 2) 研修実施中の研修受講者へのアンケート調査結果 3) 研修実施報告書</p> | <p>1) プロジェクト報告書 2) 訪問者の記録 3) シンポジウム報告書 4) 資料目録</p> |

| | | | |
|---|--|--|---|
| <p>活動</p> <p>1-1 研修事業全体の計画策定 1-2 地方研修拠点とのネットワーク構築 1-3 研修コース開発チームの能力向上 1-4 研修・人的資源開発担当者の人材育成</p> <p>2-1 林業行政管理分野の研修コースの開発・改善・実施 2-2 造林事業管理分野の研修コースの開発・改善・実施 2-3 造林技術分野の研修コースの開発・改善・実施 2-4 野生動物植物保護分野の研修コースの開発・改善・実施</p> <p>3. 情報の収集、発信、蓄積</p> | <p>日本側:</p> <p>1.日本人専門家 (1)長期専門家：チーフ・アドバイザー、業務調整員、造林事業管理、林業技術 (2)短期専門家：当該プロジェクトに関する分野の短期専門家についてはプロジェクトの円滑な実施のために必要に応じて派遣される</p> <p>2. カウンターパート (C/P) の日本研修</p> <p>3. 供与機材：教材開発、研修実施、情報伝達・広報に必要な機材</p> <p>4. 研修実施経費の一部負担</p> | <p>中国側:</p> <p>1.C/P 及び事務職員の配置 (1)プロジェクト・ディレクター (P/D) (2)プロジェクト・マネージャー (P/M) (3)下記の分野における C/P 1)人的資源開発 2)林業行政管理 3 造林事業管理 4)林業技術 5)野生動物植物保護</p> <p>(4)事務職員等 1) 施設管理職員 2) 通訳 3) 運転手 4) その他必要な職員</p> <p>2. 施設・機材 ・ 研修施設 ・ 専門家執務室 ・ 電気、通信、水道等の設備使用料 ・ 研修実施に係る機材</p> <p>3. プロジェクト事業の運営経費 ・ 研修実施経費 ・ C/P の活動費</p> | <p>・研修対象者(県レベル及び県レベル職員(管理者)が研修に参加する)</p> <p>前提条件: なし</p> |
|---|--|--|---|